

会議記録（１）

会議名称	北本市指定管理者業務評価委員会（１日目）
開会及び閉会日時	令和２年１０月１日（木）午後１時３０分から６時３０分まで
開催場所	会議室３ - B
議長氏名	委員長：秋葉清
出席委員(者)氏名	大塚美津子、土屋雄一、深見勝彦、若山清和
欠席委員(者)氏名	
説明者の職氏名	福祉課長：中村稔 高齢介護課長：加藤啓一 障がい福祉課長：吉田美佐男 都市計画課長：清水孝良 総合福祉センター指定管理者：社会福祉法人北本市社会福祉協議会 健康増進センター指定管理者：公益社団法人北本市シルバー人材センター 障害福祉サービス事務所ふれあいの家指定管理者：特定非営利活動法人北本市手をつなぐ育成会 障害福祉サービス事業所あすなろ学園指定管理者：社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団 障害児学童保育室指定管理者：特定非営利活動法人すきっぷ 都市公園指定管理者：株式会社矢口造園 中央緑地・下原緑地公園指定管理者：特定非営利活動法人北本雑木林の会
事務局職員職氏名	行政経営課長：佐藤慎也 同課事務管理担当GL：矢ノ川直登 同課事務管理担当主査：長谷川知亮
会議次第	1 開会 2 委員紹介 3 委員長の選出 4 議事 5 現地視察 6 その他 7 閉会
配付資料	1 次第 2 北本市指定管理者業務評価委員会設置要綱 3 各施設の管理運営に関する管理運営評価表等

発言者	発言内容・決定事項
司会（事務局） 委員長 土屋委員	1 開会 2 委員紹介 3 委員長の選出 4 議事 (1) 総合福祉センター ー所管課及び指定管理者から説明ー 以上の説明に対し、何か質疑はあるか。 所管課の評価をBとしている理由は何か。
所管課 大塚委員 管理者 深見委員 管理者 深見委員 管理者 深見委員 所管課	生活介護事業の利用率が低いため、利用率向上に努力して いただきたいことからB評価とした。 生活介護サービスの利用者は高齢化しているか。 している。若い人は少ない。 現在の電力会社と新電力会社で料金の企画検討を行ったと あるが、その結果は。 結果的に現在の電力会社から市を通して良い提案があり、 そちらになった。 農協等の関係団体の協力を得て相談所を開設したとある が、これは何か。 結婚相談所とボランティア相談所である。 実績報告の利用者台帳は、対前年比ではなく利用率・稼働 率で表示してはどうか。 今後は稼働率も作成する。

発言者	発言内容・決定事項
深見委員	市で公共施設マネジメント実施計画を策定しているが、本施設は今後どのようなになるのか。
所管課	施設の個別計画は、今年度策定のため、確かなことは言えないが、方向性としては廃校する学校へ機能移転を検討しているところである。
大塚委員	新型コロナウイルス感染症の関係で、ボランティア活動は難しいのではないかと。
管理者	施設へ出向いてのボランティアは難しくなった。代わりにリモートで演奏会などをやっている。
若山委員	ヒヤリハット報告に、アレルギーを持っている利用者への食事の提供を間違えたとあるが、食器の色を通常のものに変えるなどの工夫をしてみるとよい。
管理者	検討する。
若山委員	こういったことが起きないように人材確保が必要だと思うがどうか。
管理者	広く募集しているが、厳しい状況。今いる職員でなんとかやっている。
若山委員	人手不足になっていないか。
管理者	<p>基準は満たしている。</p> <p>－所管課及び指定管理者退室後、評価－ －A評価が5件、所見はなし－</p> <p>(2) 健康増進センター</p> <p>－所管課及び指定管理者から説明－</p>

発言者	発言内容・決定事項
委員長	以上の説明に対し、何か質疑はあるか。
大塚委員	新型コロナウイルス感染症の影響があると思うが、自主事業はできているか。
管理者	月1回担当者間で打ち合わせ、新しい生活様式に合わせ、定員を半分に減らす等の工夫をしている。新しい事業として整理整頓教室やプリザーブドフラワー教室を定員10名ほどでやっている。
深見委員	自主事業に「50歳からの女性のための美容と健康体操教室」とあるが、幅広い年代をターゲットにするのは良いと思う。
管理者	高齢者がメインの施設ではあるが、若い世代の利用も促進し、全体の利用者を増やしたいと考えている。
土屋委員	事故報告書にある入浴中の事故は、よくあるのか。
管理者	今回の事故は、入浴中に倒れ、意識不明となり、その後お亡くなりになった。このような事例は初めてだと思う。
若山委員	利用者が高齢者であるため、そのようなリスクが高い施設である。事故が起こってしまうのは仕方がない部分もある。事故が起こったときの対応をよく考えることが大切である。
管理者	<p>風呂場での事故は、誰にも気づかれずに発見が遅れてしまうおそれがある。巡回を強化している。</p> <p>また、職員全員AED研修を行っている。体を動かす事業の前は、血圧測定を行っている。引き続き取り組んでいきたい。</p> <p>－所管課及び指定管理者退室後、評価－ －A評価が5件、所見はなし－</p> <p>(3) 障害福祉サービス事務所ふれあいの家</p>

発言者	発言内容・決定事項
	<p>－所管課及び指定管理者から説明－</p>
委員長	<p>以上の説明に対して質問はあるか。</p>
大塚委員	<p>職員数はどれくらいか。</p>
管理者	<p>短時間も含めると32人。うち正規職員は8人。</p>
大塚委員	<p>重度の障がい者も利用しているということだが、職員は足りているか。</p>
管理者	<p>工夫してやりくりしている。</p>
土屋委員	<p>事業実施について所管課がB評価を付けていることについて、相談員が退職してしまったようだが、すぐに採用できるものなのか。</p>
管理者	<p>募集はしたが、採用できなかった。そのため県の研修を受けて資格を取得するまでの間、相談事業に空白ができてしまった。</p>
土屋委員	<p>今後は大丈夫か。</p>
管理者	<p>現在のところ3人の相談員を確保している。</p>
深見委員	<p>ふれあいの家とあすなろ学園の違いは何か。どのような違いがあつて指定管理料や支出に差がでているのか。</p>
所管課	<p>両施設とも50人定員の障害福祉サービス事業所であるが、ふれあいの家は生活介護のみを行っていて、あすなろ学園は、25人が生活介護、25人が就労支援として一部の利用者が工賃を得て作業を行っているところに違いがある。 またあすなろ学園は、自校給食であり、また送迎バス等があることで経費の面でも違っている。</p>

発言者	発言内容・決定事項
若山委員	<p>アンケートについて、利用者を対象に行っているようだが、利用者家族にも意見を伺ったほうがよい。聞き方、答え方等も工夫が必要である。</p> <p>また事故報告と苦情が1件もないが、見逃してはいないか。ヒヤリハットも含め、軽微なことであっても報告したほうが良い。</p> <p>－所管課及び指定管理者退室後、評価－ －A評価が5件、所見は次のとおり－</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 効果的なアンケート調査とするため、その方法、対象者、質問内容等を工夫するよう改善すること。 ・ 事故処理報告及び苦情処理報告については、ヒヤリハット等の軽微なことも含め記録を残すこと。
	<p>(4) 障害福祉サービス事業所あすなる学園</p> <p>－所管課及び指定管理者から説明－</p>
委員長	<p>以上の説明に対して質問はあるか。</p>
大塚委員	<p>さをり織り教室とはどのような事業か。</p>
管理者	<p>地域の人に向けたさをり織りの体験講座。出張教室も行った。利用者の活動を広く知ってもらうためにやっている。</p>
深見委員	<p>財務諸表によると、制度改正による多額の利益余剰金があったが、当初及び現在額はいくらか。</p>
所管課	<p>平成26年度約1,140万円あった積立金は、エレベーター改修や車両購入等に活用し、残額は約716万円である。</p>
深見委員	<p>基本協定書には、10万円以上の修繕は市で行うものとなっている。積立金は財政運営上どのような位置づけであるか。市に返還すべきでないか。</p>

発言者	発言内容・決定事項
所管課	<p>現在の指定管理者である社会福祉法人埼玉県社会福祉事業団が今後仮に指定管理者でなくなった場合には、市に返還することになっている。平成26年に市と指定管理者で交わした覚書において、施設と利用者のために使っていくと決めたことなので、現在のやり方を継続していきたい。</p>
深見委員	<p>アンケートで、「もっと工賃が欲しい」とあるが、利用者はどのような仕事をしているのか。</p>
管理者	<p>現在17の職種を請け負っている。基本的に軽作業が中心で、除草作業や出張で工場に出向いたりもするが、工賃は安い。</p>
若山委員	<p>アンケートについて、利用者を対象に行っているようだが、利用者家族にも意見を伺ったほうがよい。聞き方、答え方等も工夫が必要である。</p> <p>また事故報告と苦情が1件もないが、見逃してはいないか。ヒヤリハットも含め、軽微なことであっても報告したほうが良い。</p> <p>—所管課及び指定管理者退室後、評価— —A評価が5件、所見は次のとおり—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 効果的なアンケート調査とするため、その方法、対象者、質問内容等を工夫するよう改善すること。 ・ 事故処理報告及び苦情処理報告については、ヒヤリハット等の軽微なことも含め記録を残すこと。 <p>(5) 障害児学童保育室</p> <p>—所管課及び指定管理者から説明—</p>
委員長	<p>以上の説明に対して質問はあるか。</p>
深見委員	<p>栄小は、公共施設マネジメント実施計画によると廃校となるが、本施設はどのようなになるのか。</p>

発言者	発言内容・決定事項
所管課	栄小は令和3年3月いっぱいまで廃校となるが、本施設は今の場所で継続する予定である。
若山委員	<p>アンケートについて、利用者を対象に行っているようだが、利用者家族にも意見を伺ったほうがよい。聞き方、答え方等も工夫が必要である。</p> <p>また事故報告と苦情が1件もないが、見逃してはいないか。ヒヤリハットも含め、軽微なことであっても報告したほうが良い。</p>
管理者	ヒヤリハットはある。
若山委員	あれば報告したほうが良い。
大塚委員	利用者は特別支援学校の生徒か。
管理者	はい。
	<p>－所管課及び指定管理者退室後、評価－</p> <p>－A評価が5件、所見は次のとおり－</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 効果的なアンケート調査とするため、その方法、対象者、質問内容等を工夫するよう改善すること。 ・ 事故処理報告及び苦情処理報告については、ヒヤリハット等の軽微なことも含め記録を残すこと。 <p>(6) 都市公園</p> <p>－所管課及び指定管理者から説明－</p>
委員長	以上の説明に対して質問はあるか。
深見委員	野球場のスコアボードが壊れているとのことだが、修繕の予定はあるのか。
所管課	令和2年度は、修繕のための実施設計を行っている。令和

発言者	発言内容・決定事項
	3年度以降に修繕に着手する予定である。現在は、手動で対応している。
深見委員	キャッシュレス決済、セルフ予約、SNSを利用するなど様々な工夫がみられるが、状況はどうか。
管理者	<p>キャッシュレス決済は特にこども公園で好調である。若いお母さんがスマホを使って決済している。</p> <p>セルフ予約については、手続の短縮に寄与している。</p> <p>SNSはインスタグラムを用いて、これまでの公園利用者以外の人をターゲットに周知のために行っている。</p>
土屋委員	野球場やテニスコートなどは、新型コロナウイルス感染症の影響で使えない期間はどうしていたか。
管理者	芝生の養生など通常できない施設の整備を行った。
大塚委員	新型コロナウイルス感染症だけでなく、台風などこれからも災害が予想されるが、対応はいかがか。
管理者	災害にすぐに対応できるよう車両や重機などの準備がある。
深見委員	予約システムは、市と指定管理者どちらが導入しているのか。また開発はどちらか。
管理者	当初、法人の負担で開発を行った。市の予約システムが入る前から独自で運用している。保守やメンテナンスの経費についてはリースとして指定管理者の支出としている。
深見委員	事業報告書に「安全安心のための支出」がますます重みを増すとあるが、具体的に何か。
管理者	段差の解消や手すりの設置などバリアフリー化にかかる支出が増えている。

発言者	発言内容・決定事項
<p>深見委員</p> <p>所管課</p> <p>若山委員</p> <p>所管課</p>	<p>市で行っている森林セラピーと公園は何か連携しているのか。</p> <p>現在のところ連携はない。</p> <p>都市公園と緑地公園はなぜ分けて指定管理に出しているのか。コストを考えると一体で管理したほうが良い。</p> <p>中央緑地・下原緑地公園は、元々市民の力で緑地を守っていくという市民参画の考えが根底にある。そのため、都市公園とは別に市民団体である北本雑木林の会に管理を任せている経緯がある。</p>
<p>土屋委員</p> <p>所管課</p> <p>委員長</p> <p>土屋委員</p> <p>事務局</p> <p>土屋委員</p> <p>所管課</p>	<p>有料の施設は、他市の人も使えるのか。</p> <p>市外料金で使える。近隣市は市内料金で使えるようお互いで取り決めをしている。</p> <p>— 所管課及び指定管理者退室後、評価 — — A評価が5件、所見はなし —</p> <p>(7) 中央緑地・下原緑地公園</p> <p>— 所管課及び指定管理者から説明 —</p> <p>以上の説明に対して質問はあるか。</p> <p>指定期間が3年から今期は5年となっているがなぜか。</p> <p>指定管理者制度に関する市のガイドラインが、継続して指定する場合は原則5年となっているため。</p> <p>高木の伐採は特殊車両が必要であり、費用もかかると思うが、全て指定管理者がやっているのか。</p> <p>指定管理者がやりきれない部分は、市で行う場合もある。</p>

発言者	発言内容・決定事項
深見委員	中央緑地・下原緑地以外の緑地については、どのように管理しているのか。
所管課	市民・事業者・地主で協力し合って管理している。市としては補助金を出している。国の補助金もある。
深見委員	武蔵野の雑木林の原風景を取り戻すことが理念にあるが、これは、20年くらいのサイクルで伐採することで重機を使わずに伐採更新でき、費用も節減できる。現状は重機を使った高木、危険木の強剪定が多いようだが、現状はどうか。
所管課	「10年後を見据えた北本中央緑地伐採・植樹計画」を立てて雑木林の理想な形が実現できるよう進めている。進捗は、平成29年から6年間の計画の中で、現在58%伐採が進んでおり順調である。令和3年度には、より重機を入れずに伐採更新ができる理想の形に近づく。
深見委員	芯止め、大枝伐採などの強剪定が多く見た目も悪い。剪定ではなく伐採更新による維持管理を進めてほしい。 また、この計画期間においても木は成長し、高木となる。計画を見直すことが必要である。
若山委員	職員は何人か。
管理者	全部で53人。うち、作業に参加する正規会員は43人。資金的な協力をする賛助会員は10人である。
若山委員	従事する人の高齢化の問題もあると思う。継続的に事業が行えるよう新規会員の工夫も考えたほうがよい。
深見委員	「10年後を見据えた北本中央緑地伐採・植樹計画」が理想とする武蔵野の原風景を取り戻すため、所管課と管理者で協力して進めてほしい。

発言者	発言内容・決定事項
	<p>—所管課及び指定管理者退室後、評価— —A評価が5件、所見は次のとおり—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「10年後を見据えた北本中央緑地伐採・植樹計画」の遂行に当たっては、計画期間中にも高木化が進行することに対応した計画の見直しを行うこと。 ・ 計画の実施に当たっては、極力芯止めや大枝伐採ではなく、伐採による更新を進め、重機を入れずに伐採更新を継続できるよう維持管理すること。 <p>5 現地視察（児童館・こども図書館）</p> <p>6 その他</p>
	<p>7 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

議事の内容・概要を記載し、その相違なきを証するためここに署名する。

令和2年10月23日 委員長 秋葉 清